

2018年度「人権」に関する児童・生徒ポスター優秀作品 入選者

		学校名	学年	氏名	ふりがな	伝えたいこと
カレンダー・掲示用	1月	津市立新町小学校	3	小澤 果歩	おざわ かほ	えがおが一番のたからものだよ！ということを表したくてかきました。
	2月	松阪市立嬉野中学校	1	小倉 彬嵩	おぐら あきたか	誰もがかけよくスポーツができることを伝えたくてこれを描きました。
	3月	伊賀市立依那古小学校	2	森岡 裕	もりおか ひろ	みんながにこにこになったらうれしいからです。
	4月	四日市市立南中学校	2	永田 春介	ながた しゅんすけ	いじめというものは、いじめる人が一番悪いですが、いじめられた人の周りがどう行動するかでいじめの大きさは変わってくると思います。なのでこのポスターは当事者以外の人に向けてかきました。周りの人の行動が被害者の心を大きく動かすことがあるのだという事を一番伝えたいです。
	5月	鈴鹿市立稲生小学校	1	永戸 愛菜	ながと まな	友だちと楽しく大玉をころがしたことをつたえたいです。
	6月	伊賀市立府中小学校	5	中野 結馨	なかの ゆいか	高齢者、障がいのある方、妊婦さんや乳幼児も、みんなが安心して生活できるような世界にしたい。声をかけ合ったり、席をゆずったり協力し合えるようなみんなの思いやりの心あふれる世界になって欲しい。
	7月	伊賀市立久米小学校	6	星野 優菜	ほしの ゆうな	「ありがとう」を伝えるだけでみんなが笑顔になるからまほうの言葉「ありがとう」を伝えることが大事だと思いました。
	8月	鈴鹿市立白子小学校	4	中村 日葵	なかむら ひなた	友達がいるから楽しいことがある。だから、友達は大切だということ。
	9月	暁高等学校	2	安田 柚香	やすだ ゆか	やさしさや思いやりの中で、安心して自分らしく生きられる私たちの世界を木や鳥、実で表現しました。木は、養分をたっぷり吸い、どっしりとした幹を持ち、光をあびて青々と葉を茂らせています。その周りでは、楽しそうにその木を見守る鳥たちが飛んでいます。その中で実は、色とりどりの色で輝いています。
	10月	鈴鹿市立千代崎中学校	3	橋本 未来	はしもと みくる	見ているだけでなく、何か行動に移してほしいということです。私は、見ているだけという行動は暴力の一種だと思います。
	11月	亀山市立亀山中学校	3	林 那海	はやし ななみ	人には自由に生きる権利があります。恋愛も多様です。そのことについて周りの人間は何も言うてはいけません。なぜなら、誰を愛してもいいんですから...
	12月	津市立誠之小学校	5	上野 ここ美	うえの ここみ	自分たちも色えんぴつのように、ひとりひとりの個性があっていいのだという思いを伝えたい。
掲示用		四日市市立三重小学校	2	大森 蒼太	おおもり そうた	ともだちといっしょにあそぶとうれしいね
		松阪市立嬉野中学校	2	長崎 杏音	ながさき ももね	友達の心の声に耳を傾け、その子の気持ちに気づいてあげることの大切さを伝えたいです。
		津市立高野尾小学校	1	井ノ口 万葉	いのくち かずは	みんななかよしがいいとおもってかきました。
		暁高等学校	1	清水 綾乃	しみず あやの	自分が思っていることだけを伝えてしまうと、相手には温かく聞こえたり、冷たく聞こえたりとさまざまです。心は、形も、色も分からないけど、相手の事を考え、どのように伝えるかが大切だと伝えたい。
		伊賀市立霊峰中学校	1	戸谷 有翔	とたに ゆうと	ぼくは「いっしょに立ち向かう仲間」を意識して、この絵を書きました。この世の中の皆が仲良く笑っていられるのを願っています。
		鈴鹿市立桜島小学校	6	菅野 愛菜	かんの あいな	友達と笑顔あふれる学校生活を送ってほしい。
		伊賀市立柘植小学校	3	倉下 尚政	くらした なおまさ	友だちに「ありがとう」と言われると、あたたかい気持ちになります。ぼくは、友だちのことが大ききなので、ほかほか言葉たくさん使っていきたいです。
		鈴鹿市立合川小学校	4	村田 歌音	むらた かのん	いつもみんな、いっしょの方向をむいていないけど、どの方向をむいていてもいいと思います。みんなが同じ方向をむかなければいけないのは、ふつうはおかしいことだと思いました。だからこのポスターを書きました。